

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 11

合気道の新世紀！

連盟理事長 川路 昌治



激動の20世紀が過ぎ、いよいよ新世紀に向けて何か胎動、物質的豊かさの飽くなき追求、前世紀、確かに文明はめざましい進歩発展を遂げた。だが、そこに大きな落としがあったことに誰もが漸く気付き始めた。こころの空白、物質文明のひずみともいべき抜き差しならぬ問題に！

日本を含め、先進各国の社会的病理は今、加速化の状態か、物では満たされぬ人間の救済を求める声と聞こえるようだ。心身一如調和のとれた人間形成、合気道が世界各国で評価・期待されるのは、今まさに時代の要請と言った使命を帯びている感あり。

そのような中、昨年は連盟傘下各団体の皆様の御協力により、4月の少年錬成会は12団体174名が参加、また7月猛暑の中での合同講習会には179名が参加し、益々充実した内容となってきました。心から御礼申し上げます。

光栄なことに、日本武道協議会より、今年度の武道優良団体として表彰されました。顧みれば、これも19年間の歴史と伝統に裏付けられたもの、地道な努力をなされてこられた諸先輩に心から、敬意を表します。

新世紀は、「合気道の時代」、これを合い言葉に全力を尽くそうではありませんか。

武道優良団体授賞の名誉

市塚副会長授賞式に臨む

(1月8日：成人の日)

日本武道協議会主催、平成13年度鏡開き式・武道始めに於いて、当連盟は合気会推挙により、武道優良団体として表彰された。

以下、事務局を代表しての取材雑感を記します。

日本武道協議会は、柔道・剣道・相撲等の武道9団体と日本武道館で組織された、発足以来24年の歴史を持つ組織である。武道館を埋め尽くした大勢の人々

の圧倒的多数は何らかの武道関係者、空手着姿の1団の白い輪が点在、学生服からはみ出しそうな、体躯の大男がのし歩く。大学の相撲部か。

全日本の演武会とは、一味異なる雰囲気興味津々さて、12時過ぎから始まった表彰式。市塚副会長が賞状を授与する姿を撮るべく固々しくも正面の、来賓席前から身を乗り出す。横には道主・役員の方々国会議員。撮影開始だが、カメラマン殺到、今一アングルが悪い。その時である、助け船「ほら、こっちの方がいいよ」振り向けば、本部道場の藤田師範、意を得たり、乗り出したのは、さる偉い方の頭上、その結果が下の写真と相成ったのです。

古式豊かな鎧着初め出陣式(道主が副将軍を努られました)の後、一時間余に亘る各武道団体による演武。他武道の迫力に触れることもできました。

最後は、各団体毎に稽古、表彰式に始まり、盛り沢山の内容。充実した一日でした。表彰式、市塚副会長の姿が輝いておりました。

県連新年会開かる : 平成13年1月21日

去る1月21日(日)、和光市養老の滝において、7団体15名の参加により、理事会主催の新年会が文字通り盛大に開催された。女性3名の参加もありいつになく華やいだ雰囲気であった。

表彰式に臨んだ市塚副会長より、これまでの蓄積であることが強調され、新たな決意がなされた。



各団体・演武会特集 (平成12年度)

合気道川越道場 堀田 裕一

——創立30周年・節目の演武会

平成12年度川越道場演武大会が、やや小降りの中、今年も城南中学校で開催されました。参加団体は、狭山ヶ丘高校合気道部、埼玉県庁合気道部、深谷合気会、産経学園、大成合気道会、北区合気会、そして川越道場の7団体でした。今年は大塚道場明道館は、不参加となりましたが、これだけの方々に集まって頂いた事は嬉しく思います。

各自、練習の後、開会式が始まります。私は3回目の参加となりますが、毎年この時は緊張が走ります。それは、他のスポーツに比べて合気道は日頃のせいかを発揮する場が少ないせいかもしれません。そして今年も20世紀最後、川越道場創立30周年という節目の年であり、自分で納得できる演武をしたいという気持ちもありました。それは、他の方々も同じらしく、一様に硬い顔をしていました。

そんな中、島田道場長の開会挨拶がありました。師範のにこやかな挨拶で、周りからも笑みがこぼれ、緊張が抜けていくのを感じました。挨拶が終わる頃にはいつもの自分に戻り、練習の成果が発揮できる気がしました。

本番の演武では、どの団体も充実した稽古をされているらしく、素晴らしいものばかりだった様に思います。そんな中、深谷合気道会から意外な提案があり、この機会に他団体の白帯の方と一緒にやりたい、というのでした。会場は少々戸惑い気味でしたが、他団体との稽古の機械は減多にありませんから、私は嬉しかったです。そして、終始和やかな雰囲気の中、演武は終了しました。最後の島田師範の演武はもう少し見たかったと周りの方々も残念がっていました。

少し気になったのは、年々若い人や女性が少なくなっていることです。もっと参加して欲しいと思います。21世紀も川越道場演武大会を益々盛り上げて行ければと思います。

合気道和美支部 永井亜希子

——豪華な会場で第29回演武大会

毎度、お馴染み永井からのご報告！

「ウンリヤ、ここでやるの？」去る12月3日、私達合気道和美支部の第29回演武大会が、いつもの道場ではなく「サンアゼリヤ」というホールで盛大に行われました。

コンサートなども行われるとあって、道場とは比較にならないほど立派。演武を行うのも舞台の上で、しかも、スポットライトを浴びながらなんです。あまりの豪華さに、いつもの演舞会との落差に、思わず眼を丸くしてしまいました。

私が驚いたのはそれだけではありませぬ。みんなの気合いの入れ方の、それはすごいこと！さらに、今年は入会者が多く、出席者が増えたこともあり、演武前から会場は熱気でムンムンです。そして、演舞会本番。舞台上上がり、幕が上がった瞬間まるで映画のヒロイン、あの時の気分はクセになりそう。先生の、いつものながら的確でセンスある(?)コメントとともに演舞会は着々と進み、自分の出番です。名前を呼ばれ、舞台の中央に立ち、あとは無我夢中、ふと我に返った時には、私は汗びっしりで舞台のそでに立っていました。

他の人も同じ状況だったようで、(松橋さんなどは汗で顔を洗っていました)そんな中、ただ一人リラックスしていたのが、妖怪川路師範。数々のアドリブと共に大暴れでした。

私が一番感心したのが、少年部の子供達が会場内を走り回る訳でもなく、落ち着いて他の仲間や大人の演武を見学していたことです。毎年このことで、子供は確実に成長するのだなあと、今年もまた感じました。

こうして第29回演武会は無事に終わりました。ところで、来年はついに30周年を迎えます、これ以上盛り上がった演武会ってどんなものだろう？という疑問が沸き上がった程の今年の演武会。来年度が愉しみと思うと同時に、益々精進せねばというプレッシャーも感じております、ハイ。県連の永井ファンの皆様、今年も頑張ろうね！

(和美支部演武大会・賛助の方と)

第29周年合気道演武大会



所沢市合気道連盟 齊藤 孝男

—— 所沢市市制50周年記念、演武大会

昨年10月8日、所沢市市民武道館において、本連盟主催による演武大会を開催しました。山上会長の主催者挨拶では、14年の本連盟の誕生から、今日に至るまでの話があり、また、他道場には、本連盟への日頃の協力に対し感謝を述べられました。

演武に先立ち、全体体操を行い、続いて、全くの初心者と入会して間もない会員に対し、「初心者合気道教室」を行いました。短時間では在りましたが、合気道の触りを紹介することが出来ました。

演武に移り、前半は、本連盟による演武、少年部による稽古風景、白帯による基本技、有段者による個人演武を行い、続いて本連盟師範針すなお先生が創始された“体の杖”の演武が、会員により行われました。最後に、指導者5名による指導者演武を行いました。

続いて招待演武に移りました。参加していただいた道場・団体は、合気道自然館、大成合気道会、田尻道場(香取神道流)、合気道和光支部、志木合気会、桶川愛会、深谷合気会、入間幸武館道場、合気道大宮道場、浦和合気会、東京都庁合気道部、A&P石垣道場、で華を添えていただきました。

このように、多くの道場・団体が所沢に来て演武をしていただいたことを会員一同、心より感謝しております。演武大会最後に、針すなお師範による、“体の杖”の演武、続いて合気道の演武を披露されました。演武大会を締めくくるのに相応しい華麗な演武でありました。

終了後、場所を変えて、懇親会を行いました。合気道談義で盛り上がり、途中、招待演武に参加された方々から所属道場・団体の紹介や近況があり、また、針すなお師範から体の杖の紹介がありました。楽しく有意義な一時を参加者一同過ごすことができました。今年は、本連盟創立15周年という節目の年を迎えます。15周年記念演武大会に会員一同、新たな気持ちで稽古に精進している所であります。

(気迫のこもった針すなお師範の演武)



合気道大宮道場 佐藤 行一

—— 言葉(言葉と言刃)

「大宮道場」では、年に3回、4ヶ月に一回の割合で本部師範をお招きしての講習会を開催している。

毎回すばらしい先生をお迎えしての講習会は、道場が溢れんばかりの参加者の活気で、普段の稽古とはまた違った時間を過ごすことが出来る。中でも佐々木将人師範の講習会は、昨年では大宮道場の一年を締めくくる年末恒例の行事となっている。

佐々木先生に出会うことができ本当に良かった。先生に出会って言葉の持つ重さを 認識し、人を活かすもどうするも、言葉次第であると言うことを改めて感じた。先生の講習会は、終始緊張と笑いの連続で、私にとっては、合気道を通じて人生に明かりを照らしていただいているようだ。終了すると心が洗われて、「ヨシ、今年も頑張るぞ！」と言う気持ちになるから不思議だ。先生曰く、言葉は言葉(ことだま)であって、言刃であってはいけないとの事。時に言葉が人の人生を左右することもあるし、良くも悪くも心にいつまでも残る事は、誰でも経験があると思う。

昨年暮れの講習会の時、私を呼びだして皆の前で技の注意点を指摘して頂いた野だが、その時私に小声で「少し恥をかかせるけどゴメン」と前置きして始まった。案の定私の技は悪い見本の最たるものだった。素直でなく、人一倍自尊心の強い自分だが、その一言でいとも簡単に素直になれた。これが、佐々木マジック。まさに言葉を感じた一瞬であった。

お聞きするところによると、昨年体調をお崩しになられ、それをもち前のパワーで克服されたとの事。これからも私達に明かりを照らし続けて行って欲しいと願うばかりです。

(尊敬する佐々木先生の指導)



道場だより

深谷合気会 関口 真

こんにちは、深谷合気会です。私達は深谷市にあります総合体育館(ピクチャーコート)の柔道場にて、週2回1時間半づつの稽古を行っています。

深谷合気会は平成5年12月から、本格的に稽古を開始しました。現在、会員は50名近く、練習にはいつも2・30名の、上は70才から、下は小学校低学年までの老若男女が参加し、熱のこもった稽古をしております。深谷合気会は、合気道を通しての健康増進、会員間の交流を目的としております。そのために、大原則、練習は楽しく、があります。

この頃は、多少若い方たち、高校生や大学生が練習に参加してくれるようになってきました。そしますとやはり道場全体にも活気がみなぎり、お年を召した方も、吾も負けじとばかりと、頑張りだし、かけ声や(なぜか)笑い声も大きくなって来ました。良い傾向です。

当会は、練習に際しまして、年齢や性別によるクラス分けをしておりません。

みんな一緒に稽古を重ねております。練習が甘くなるのではないかと、思う向きもいらっしゃるだろうとは思いますが、確かに気をつけなければ、力に頼った稽古になってしまうかも知れません。ですが、私(およそ30才)は、小学生に稽古をつけてもらっています。実際色々発見することがあります。子供、大人、力の強い人、弱い人、体の大きい人、小さい人、格闘技経験ウン十年の強者、ベンシカ持ったことのない人、様々な人たちが自分の目的に合わせて、互いに楽しく、怪我のないようにけいこすることは、実際は、とても大変で、とても注意深い稽古を行わせております。

当会に入会するのに、年齢や、体躯による制限などは、無論ありません。私達は今、とても合気道(だけではないが)を楽しんでおります。また、これからもっと楽しんでいけると思っています。

県連予定

- ◎ 常任理事会(3/4)和光市「養老の滝」
- ◎ 第16回県連少年錬成会(理事会同時予定)
場所：桶川市総合体育館サンアリーナ
日時：平成13年4月15日(日)
- ◎ 第19回県連合同講習会
場所：所沢市市民武道館
日時：平成13年7月1日(日)